

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No. 1106

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島経済大学		科目開講 キャンパス	本学	
2. 科目名	正式科目名	証券市場論			クラス名
	副題	グローバル化に適応できる経済人としての基本（デリバティブを含む）を学ぶ			配当年次
					2
					受入学年
					2年以上
	旧科目名				
	学問分野	番号	24	名称	商学・経営
	サテライトで開講される科目の科目群			A 群	B 群
3. 担当教員名	ぬかや ひでき 糠谷 英輝・経営・教授				
4. 単位数	2 単位		5. 開講学期	前期	
6. 開講期間 曜日・時間	2020 年 4 月 15 日（水）～ 2020 年 7 月 22 日（水） 水曜日 10:45 ～ 12:15				
個別開講日	1 回目 4/15	2 回目 4/22	3 回目 4/29	4 回目 5/6	5 回目 5/13
	7 回目 5/27	8 回目 6/3	9 回目 6/10	10 回目 6/17	11 回目 6/24
	12 回目 7/1	13 回目 7/8	14 回目 7/15	15 回目 7/22	16 回目 /
	試験日 /				
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数 (総授業定員)	制限なし (人)		9. 定員超過時の 選考方法	なし	
10. 科目内容・ 授業計画	<科目内容> 債券や株式とはどのようなものか、証券取引はどのように行われるのか、証券や証券市場は経済においてどのような役割を担っているのか、証券に関する基本的な事項を前半で解説します。後半では、債券や株式の評価、ポートフォリオ、デリバティブ取引、さらに具体的な証券投資を考えるといった、より実践的な内容を取り上げていきます。講義期間中に世界の証券市場で大きな動きが起こった場合には、授業で取り上げ、その背景、問題点、影響なども紹介します。専門的な分野になるため、理解の確認や復習も毎回行っていきます。毎回、授業の冒頭で、前週の日経平均株価の動きを解説し、株に対する関心を深めます。また授業の最後に、理解度を測る「確認テスト」を実施し、解答を次週の授業の冒頭で解説付きで行います。 <授業計画> 第 1 回 講義ガイダンス／第 2 回 債券と債券市場／第 3 回 株式と株式市場／第 4 回 証券で資金を調達する（発行市場）／第 5 回 証券で資金を運用する（流通市場）／第 6 回 証券取引はどのように決済されるのか／第 7 回 債券を評価する／第 8 回 株式を評価する／第 9 回 デリバティブ取引（先物取引、スワップ取引）／第 10 回 デリバティブ取引（オプション取引）／第 11 回 証券化とサブプライム問題／第 12 回 証券市場を巡る新たな動き／第 13 回 証券投資を考える～投資の必要性和投資方法・投資心理／第 14 回 証券投資を考える～投資対象としての株式と投資信託／第 15 回 講義全体のレビュー				
11. 試験・評価方法	・定期試験（65%） ・中間レポート（15%） ・毎回授業終了時の確認テスト、受講態度（20%）で評価します。				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	・授業中は私語、携帯電話の使用、飲食は厳禁です。他の受講生の迷惑にならない様に十分に留意して下さい。 ・新聞等で経済全般の動きを捉える習慣を身につけて下さい。その際の疑問点等もメール等で受け付けます。				
14. サテライト科目 の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否